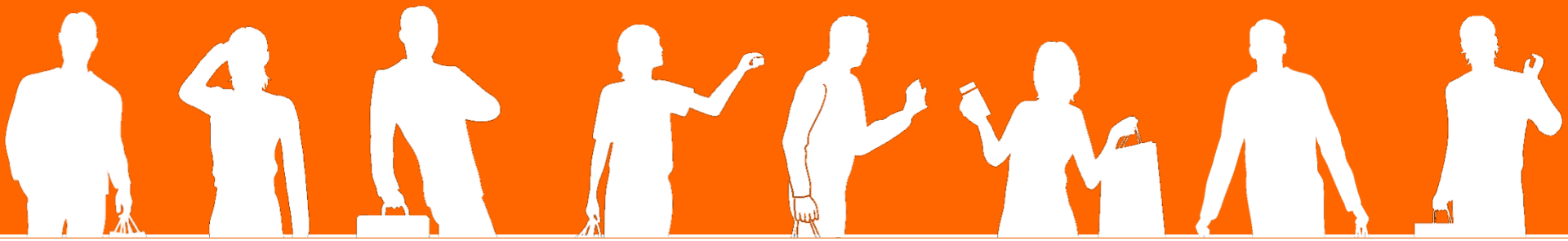
健常者の受けられる認知機能検査

３０歳～９９歳までが対象となります

健常な頃から「認知機能の見える化」で状態把握、リスク管理を

認知症発症や重篤化の予防は、初動の速さがカギとなります



簡易認知機能スケール

あたまの健康チェック®

The MCI Screen

あたまの健康チェック® は 認知症ではない方向けの認知機能スケールです

医師や医療従事者でなくとも操作が可能な高精度の健常者向け認知機能スケールで
国の認知症予防プロジェクトでも採用されており、全国の医療機関、自治体で採用されています。

テストの実施から結果出力まで１０分という短時間で行え、検者の職能を問わない仕様のためボランティア等でもすぐに操作・実施が可能なため、医療・福祉スタッフの人員も限られる被災地での利活用現場では特に適しています。

0-100の値で認知機能が定量的に表され、医療・福祉スタッフと共に、一般市民でも体温計のように客観的な数値で「認知機能の状態」を簡便に把握、共有することができます。

環境の変化や被災の心理的ショックから起こりえる認知機能低下を顕在化することができます。
被災地でのカウンセリングや保健指導や介護予防指導などの場面でお役立てください。

被災者の認知機能の状態を把握し、目に見えづらい認知機能低下に気づき
懸念される認知症発症・重篤化の予防や要介護度の悪化の予防にお役立てください。

- Shankle WR, Romney AK, Hara J, et al. Method to improve the detection of mild cognitive impairment. PNAS. 2005; 102(13):4919-24.
- Hikichi H,et al. Proc Natl Acad Sci USA. 2016;113（45）：E6911-E6918.
- Hikichi H,et al.The Lancet Planetary Health. 2017;1(3):E105-E113.
- Ogawa M, Sone D, Maruo K, Shimada H, Suzuki K, Watanabe H, et al. (2018) Analysis of risk factors for mild cognitive impairment based on word list memory test results and questionnaire responses in healthy Japanese individuals registered in an online database. PLoS ONE 13(5):e0197466.

2018【被災地対応　特例措置】認知機能スケールを無料でご利用ください

あたまの健康チェック® は
認知症ではない方向けの認知機能スケールです

被災者対応をされる医療機関・地方自治体を対象として
認知機能スケール あたまの健康チェック® の利用料を免除致します

2013年の東北での被災経験から、被災地域では、喪失感や生活環境の激変などに起因する心理的ショックから健常であった方が認知症を発症される、認知症患者の様態が重篤化する、要介護度が悪化する等のケースが多発するとの研究報告があり同研究では、住宅の全壊は脳卒中や歩行時間の変化と同等以上に認知機能低下の大きなリスク要因であることや、「社会的結びつき」を持つことが認知症予防に効果があることがわかっています。

被災者対応における以下のような場面でご活用ください

- カウンセリング
- 保健指導
- 介護予防指導
- その他 被災者支援活動